

諫早市教育委員会議事録
令和 8 年第 6 回（5 月定例）

令和 8 年第 6 回（5 月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和 8 年 5 月 2 7 日（水）
1 6 時 0 0 分～1 7 時 0 0 分
- 2 場 所 諫早市役所 7 階 会議室 7－1
- 3 出席者 教育長 池田 尚
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 石橋 芳秋
教育総務課長 池 政信
学校改革推進室長 青木 信高
学校教育課長 山口 隆
生涯学習課長 松原めぐみ
- 5 議 題
報告第 5 号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の
委嘱について）
議案第 1 2 号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて

議事録署名人の指名

原田委員と小野委員を議事録署名人に指名

議事の非公開

報告第5号は人事案件であるため非公開

議事録の承認

令和8年第5回（4月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告及び報告に対する質問・意見》

昨日、出席した県の教育長会議の報告である。テーマのひとつに「教員の働き方」についてとあり、県も「魅力化作戦会議」など、いろいろ考えている。私は一番最初に発言し、学校の先生と夜にこどもの城で勉強会をし、その先生のところの授業に行き、一緒に授業をしたり、経験の浅い先生の場合は、私が手本を見せたり、範を示したり、短い時間の中でポイントを話してきた。学びたい人は、自分の時間を使って研修をされている。PTAも仕事が終わって集まっている。部活動をやりがいに行っている教員には地域展開をしても続けられる道が残ればいいと思っている。働き方改革とは5時に全員帰るということではなく、むしろそれがやりがいという人もいるので、ぜひその視点も忘れずにしていただきたいと話した。

会議の記事が長崎新聞に載っていた。

「本年度から英語の発信力強化を目指す「M I R A I プロジェクト」を始め、人工知能機能 A I の活用やスピーチの場を作ると説明した後に、諫早市の池田尚教育長は、学力向上の先進事例として、福岡県飯塚市の取り組みを挙げ、体験学習を積極的に取り入れ、学力向上に繋げたい。」と紹介されている。

体験学習とは、〇〇教育、諫早式〇〇教育ではなくて、どんな内容の学習にも応用できる手段の一つである。紹介した私のふるさとに近い飯塚市は、ここ 10 年ぐらい全国平均を上回った学力テストの結果が出ている。どうして飯塚市で学力が上がったのかと聞くと、体験学習を全部の学校で取り入れたということだった。つまり体験学習というのは自然の家に行って野外炊飯することに目が行きがちだが、体験活動をするプロセスに意味があって考えていく過程とか、失敗して取り返す過程など。残念ながら学校の先生は一時間の授業に追われるので、失敗させられない。むしろ達成感を子どもに味わわせたい気持ちも強くなったりする。飯塚市は試行錯誤しながら体験活動を取り入れて学力が上がったという分析でしたので、それも紹介して、できればそういう事例を見本にしたいと話をした。

[委員]

その学力の体験教室、例えば英語に関しての体験教室というのは、A L T と話をするといったことの体験教室なのか。

[教育長]

一つの例でいけば、僕も英語の教員の免許なんか持っていないけど諫早幼稚園の英語の先生をやっていた。楽しさを重視した。英語の授業の中にテキストがあるが、本来小学校に英語が入った狙いはそういうことではないような気がする。でも、テキストがあって D V D が流れて「私の誕生日は 3 月よ」と言ったら、全員がノートに「M A R C H」と書く。つまり僕らがやってきた英語の授業の D V D 版がある。それよりも「1 時間で自分の誕生日だけ言えるようになろう」みたいな授業の方がいいのではないか。それはとりもなおさず英語が小学校に入ってきた狙いをよく読み解くとおそらくそういう工夫した授業がいいのではないか。これが体験的に学ぶということ。自ら能動的にかかわっていく授業という意味で使っている。

[委員]

能動的に児童生徒が動くということか。

[教育長]

その工夫を何とかできないかと思っている。先生がカテゴリーを与えすぎるとやらされ感が出るのではという感じである。

[委員]

昨今よく教育問題としていろんなことが取り上げられているが、その中の学校の働き方改革についての教育長の考えを伺った。不登校の低年齢化やタブレットを含めたＩＣＴ教育に向けてどのような見解を持っているのか。

[教育長]

ＩＣＴは、ＩＴにＣ、コミュニケーションが入ったので、コミュニケーションをどう考えるかである。コミュニケーションも概念的に学ぶいろんな学校の授業も、基礎学力が定着するには、ハビリテーション、日本語にすると習慣化だと思っている。コミュニケーションを習慣化するためには、学校の授業だけでなく、「コンビニ行ったらありがとうって言った」というようなことをしょっちゅう投げかけていく。ＡＩは、情報機器であり、大人が道具として捉えるということである。道具の性質は目的があって開発されたものである。そして、もう一つの暗い部分の道具の性質は、目的外に使用すると危険なものであるというごく単純な性格を持っている。目的外にＩＣＴを使用すると危ないと啓発することだけでは、現役の保護者の方もわからないので、ＩＣＴ教育の一環の中で、大人も楽しくというか能動的に学べたりすることができないかなと思っている。

[委員]

こどもの城に新任の先生たちが勉強会に来られていたのは、呼びかけられていたのか

[教育長]

新任とは、市役所の新任職員のことである。教育委員会に頼まれて新任の先生たちの研修の講師をこどもの城で丸一日かけてやったこともある。

[委員]

昨日の分科会は、不登校についてだった。私的には子どもに応じたいいろんな居場所をできるだけ作ってほしいなというのがあり、学校に戻すということではなく、その子どもが社会で自立していけるように、なるべくなら諫早でいろんな人が受け入れられるところができしてくれると私は助かると思っている。

[委員]

部活動の地域展開についての分科会に行った。先ほど言われていた働き方改革もあり、難しい問題が含まれていた。

松浦市の話ですが、陸上の顧問をされていた先生が、教師を辞められても、ボランティアで続けていた。今回、地域に移行すると費用の問題があり、ボランティアだったので続けられたが、費用が出

ると厳しい。いろいろ個人によって考え方がある。音楽の関係でいくと、地域によると音大を出られた方はなかなかいない。ブラスバンドをやっていたという方がいるけれども、費用が発生すると責任があり、自己流でやっていたので小学生や中学生に基礎を教えるとなるとお金をもらってまで教えることに自信がないという話であった。

[委員]

あと補助金について、人数が少ないところはクラブチームを廃止すると認定されない。他市町で集まってクラブチームを作るとどこが認定するのか、などの問題もあった。教えるためには認定が必要で、認定を受けるにはいくつか要件があり、指導者の研修や市町の研修を受講した人がいないと認定を受けられない。

[委員]

私は「子どもの豊かな育ちを支える地域のつながり」という分科会に行ってきた。同じグループに小値賀町と壱岐市、そして時津町の方がおり、壱岐市は1年に生まれる子どもの数が百人満たない。小値賀町は島民が2千人ほどである。少子化ではあるが、地域の人たちがどうにかして子どもたちに体験活動をさせようとしてボランティアでいろんなことをされている。逆に時津町のように大きなところになると、濃淡がいろいろあって、田舎の方に行くと地域の人があまりにも強すぎて、新しい人が入ってくれないとか、新興住宅地であると任意団体、例えば先ほどのスポーツクラブなどに入る方が多いので、そこの結びつきは強いけれども、地域に出てこようとしない。そういう問題があると伺った。

[教育長]

分科会で何か発言されたか

[委員]

諫早市は、PTAなどで困りごとがあったら、生涯学習課の方が笑顔で話を聞いてくれてサポートし寄り添ってもらい、とてもいい雰囲気である。寄り添ってもらうことでいろんな負担感や脱退者が増えたりするなかでも現状を維持している。いい雰囲気は大きく関わっているというような発言をした。

議 事

議案第12号 全国学力・学習状況調査結果の取扱いについて
学校教育課長 説明

《学校教育課長の説明に対する質問・意見》

[委員]

生徒数が多いところの結果がいいということがあるのか。

[学校教育課長]

生徒数に関係はない。

原案どおり可決

《生涯学習課長からの報告》

令和8年度 わたしの主張～少年の主張諫早市大会～

《生涯学習課長からの報告に対する質問・意見》

[委員]

毎年言っていた「この時代、少年と定義するのはおかしい」と
私の意見が多少は入って、諫早だけでも変えていただいた。

[教育長]

非常に重要な視点である。私も少年自然の家で働いていたとき
同じこと考えた。実は国の方で男子も女子も少年青年と呼ぶこと
と決めている。

[委員]

ボーイスカウトも変わってスカウティングUSAになった。ラ
イオンズの方でも高校生弁論大会をやっている。時代的にはその
ように変えた方がいいのかなと思う。

《非公開議事》

報告第5号 臨時代理の報告について（諫早市少年補導員の委嘱に
ついて）

生涯学習課長 説明

削除

了承

その他

教育総務課長

- 1 6月の定例教育委員会の日程について
- 2 教育委員会視察研修について

17時00分閉会